

ICT通信 ~2017年1月~

今年も寒くなり、乾燥の季節・感染症の季節がやってまいりました。テレビのニュースなどでインフルエンザの流行や、ノロウイルスの集団感染などが取り沙汰されるようになっていますが、皆さまは大丈夫でしょうか？

今回のICT通信では、冬の嘔吐・下痢の感染の代表であるノロウイルスについて記載します。

★ ノロウイルスの活動期間

一年中活動しているが、11月頃から増加し、1月頃がピークとなる。

☆ ノロウイルスの主な感染経路

- ① 感染者のウイルスが含まれている便や嘔吐物から。
- ② 調理などをする人が感染していて、その人が介在して汚染したものを食べる。
- ③ 汚染された貝類(とくに二枚貝)を、生あるいは十分に加熱しないで食べる。
- ④ 汚染された井戸水などを消毒せずに摂る。

★ ノロウイルスの特徴

- ① 感染力が非常に強い → ごく少ない量のウイルスで感染
- ② 乾燥に非常に強い → 乾燥した室内では、乾燥したウイルスが舞い上がり、空気感染
- ③ アルコールや酸、高温への抵抗力が強い → 除去しにくい。次亜塩素酸(ハイター等に含有)で除菌
- ④ 多数の遺伝子型があるウイルス → 同じ人が何度も感染するという厄介な特性

☆ ノロウイルスの潜伏期間:約1~2日。

★ ノロウイルス感染時の症状:嘔吐、腹痛、下痢、発熱

人により、1日に10回以上の水様便・嘔吐が続き、脱水状態になります。こまめな水分と電解質の補給が重要となります。脱水状態が進行しやすい若年者や高齢者はとくに注意が必要です。

☆ ノロウイルスの特効薬:ノロウイルスに有効な抗ウイルス薬はありません → **予防が大事!!**

※予防方法...手洗い、うがいをこまめに。感染者の嘔吐物や便を適切に処理する。

かき等の二枚貝を食べる際は十分に加熱する。

☆☆☆ ノロウイルスに感染したら

特効薬は無いので、対症療法となります。
安静にし、ウイルスが体外へ排泄されて症状が緩和されるのを待つ事です。吐き気などの症状が強い場合は薬で治療することもあります。
自力で水分を摂ることができ、腹痛がそれほどひどくないのであれば、他人との接触を避け、水分補給をしながら安静にしましょう。

下痢による脱水症状が進んでいる、もしくは、飲んでも吐いてしまう場合には、点滴により水分を補うことも可能ですので、このような場合は必ず医療機関を受診してください。症状がひどく、辛くてどうしようもない場合には、吐き気を抑える薬、胃腸を整える薬などを使用することもあります。その際は、医師・薬剤師の指示に従うようにしましょう。



当院では幸いまだインフルエンザやノロウイルスなどの集団感染は起きていないので、ICTとして手洗いやうがいなどを励行し感染対策に努めていきたいと思う。

1月担当:放射線科